

柏原小学校 道徳科授業フランニングシート

① 内容項目

内容項目 (B - 4)
友情 信頼

② 教材名

教材名
『大きな絵はがき』

③ 教師の道徳的価値観の
明確化
※指導要領解説を参考に。

友情とは、互いを認め合い、学習活動や生活の様々な場面を通して 理解し合い、協力し、助け合い育まれるもの

信頼とは、どんな時でも助け合える関係、お互いに信じあっている。頼れる存在。浅い関係ではなく、深い関係

④ 児童の実態

活発な児童が多く、休み時間や当番活動などで友達となかよく過ごしている様子をよく見るが、よくないことをしている友達に指摘できない児童もいる。利害にこだわって決められた友達としか遊んでいない児童もいる。

⑤ ねらい

(A) 登場人物が友達に本当のことを話すか話さないかを考える活動 を通して

(B) よい友達関係には、ときには助言し合えるような信頼関係が必要なこと について気付き、(について考え)

(C) 友達とよりよい関係を築いていこう とする(判断力・心情・実践意欲・**態度**)を育てる。

⑥ 中心発問 ◎
補助発問 ○
児童の反応 ・

◎ 「あなたが広子と同じような絵はがきをもらったらどうしますか」 (自)

○ 「広子がいやな気持ちになるかも」
○ 「広子の立場だったらどうかな」
・ 伝える 広子がかawaiiそう
・ 伝えない 嫌われたくない

⑦ 導入と終末を除いた展開部分の中心発問以下外の発問

○転校していった正子から絵はがきをもらって、広子はどんな気持ちになっただろう
○広子はどのようなことを考えて返事を書き始めたでしょう

⑧ 導入

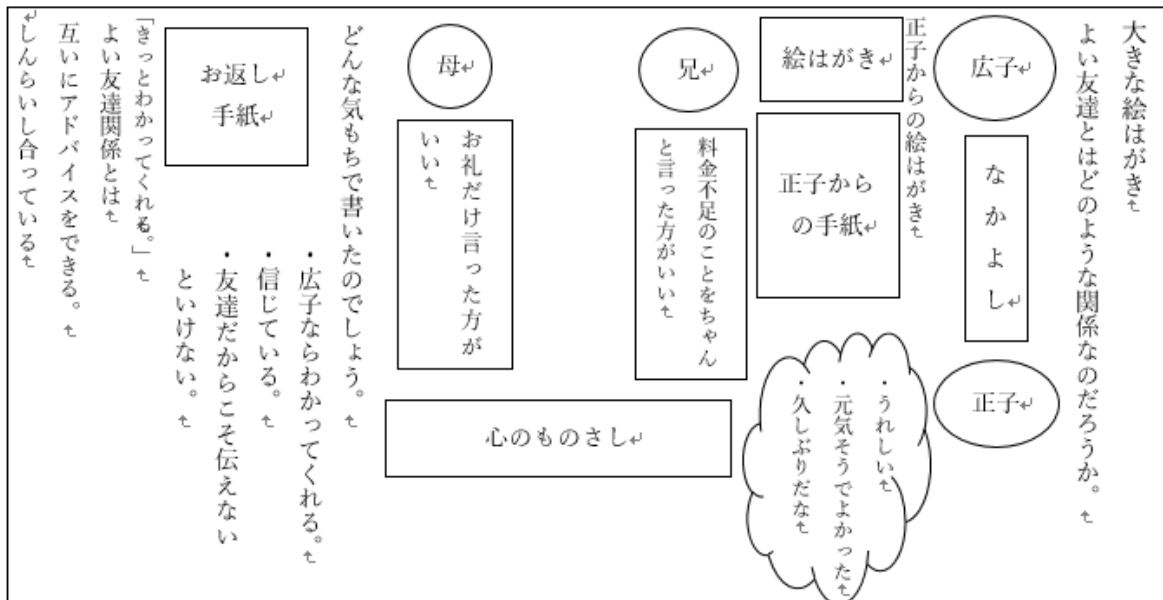
「友達がいてよかったことはありますか。」という発問から問題意識を持たせる

⑨ 終末

「今までに「友達のために」と考え何かしたことはありますか。またその時にどのような気持ちになりましたか」という問いかけをして、今までの自分を振り返る。

※ 評価の視点を1時間の中に入れる。(自)自分事としてとらえる / (多)多面的・多角的

板書計画(手書き・写真もOK)



授業後の振り返りやメモなど

- ・心のものさしを活用することで、児童の可視化をすることができた。
- ・振り返りで、価値とは違ったことを書いている児童がいたので、価値に近づけられるような発問が必要だと思った。
- ・児童の考えが深まるように、全体での話し合いの時間をもっと取るべきだった。